

平成28年12月27日

長野市長 加藤 久雄 様

長野市ボブスレー・リュージュパークの
ナショナルトレーニングセンター
継続要望書

公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟
会長 北野 貴裕

公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟は日本国内のボブスレー・リュージュ・スケルトンの各競技を総括し代表する団体として、競技を通してスポーツを振興し、国民の体力と競技力の向上及びスポーツ精神の普及を目的として活動をしています。

『要 望』

長野市ボブスレー・リュージュパーク(以下スパイラル)をナショナルトレーニングセンター(以下NTC)として2022年北京冬季オリンピックまで継続することを要望します。

1. スパイラルは冬季オリンピック種目そり三競技の国内唯一のNTCであり、ここを拠点に普及振興・競技者の強化および育成・日本選手権はじめ各大会開催等を実施しています。

海外遠征派遣の強化指定選手等がこれまでホームトラックとしてスパイラルにおいて、競技力を積み上げ、オリンピック・世界選手権・W杯・多くの国際大会で活躍している実績があります。

2. 札幌市が二度目の冬季オリンピック開催地の招致を目指しており、国内競技者の中長期的な育成強化のためにスパイラルのNTC指定は必須であります。冬季オリンピック自国開催の可能性がある中で、NTC指定がなくなる事態は何としても避けなければなりません。

3. スパイラルは小・中・高校生を初めとする多くの青少年がそり競技を目指して最初に滑走体験をする施設であります。国内の各競技連盟(北海道、宮城、長野、大阪)では体験会や競技会を開催し、鋭意そり競技の普及・振興を行っております。こうした活動を今後とも継続実施していくことが、重要であります。

以上のような理由から、スパイラルのNTC指定の継続を切望致します。

公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟
会 長 北 野 貴 裕